

りんご生育情報(5月号)

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-8603

令和4年5月17日発行

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



1. 「ふじ」の生育状況

4月9日から13日にかけて気温が高く推移し、開花始期は平年より5日早くなりました。その後、4月下旬から5月頭にかけて気温が平年より低い日が数日続き、満開期～落花期は平年より2～3日早くなりました(表1, 図1)。また、4月29日には積雪が確認され、園地によっては満開期を迎えているところもありましたので、今後の生育を注視していく必要があります。

表1 令和4年の生育状況結果(調査地: 東和町錦織)

	発芽期	展葉期	開花始期	満開期	落花期
本年	4月3日	4月10日	4月26日	5月3日	5月8日
前年	3月27日	4月9日	4月23日	5月5日	5月9日
平年	4月3日	4月12日	5月1日	5月5日	5月11日
前年差(日)	7	1	3	-2	-1
平年差(日)	0	-2	-5	-2	-3

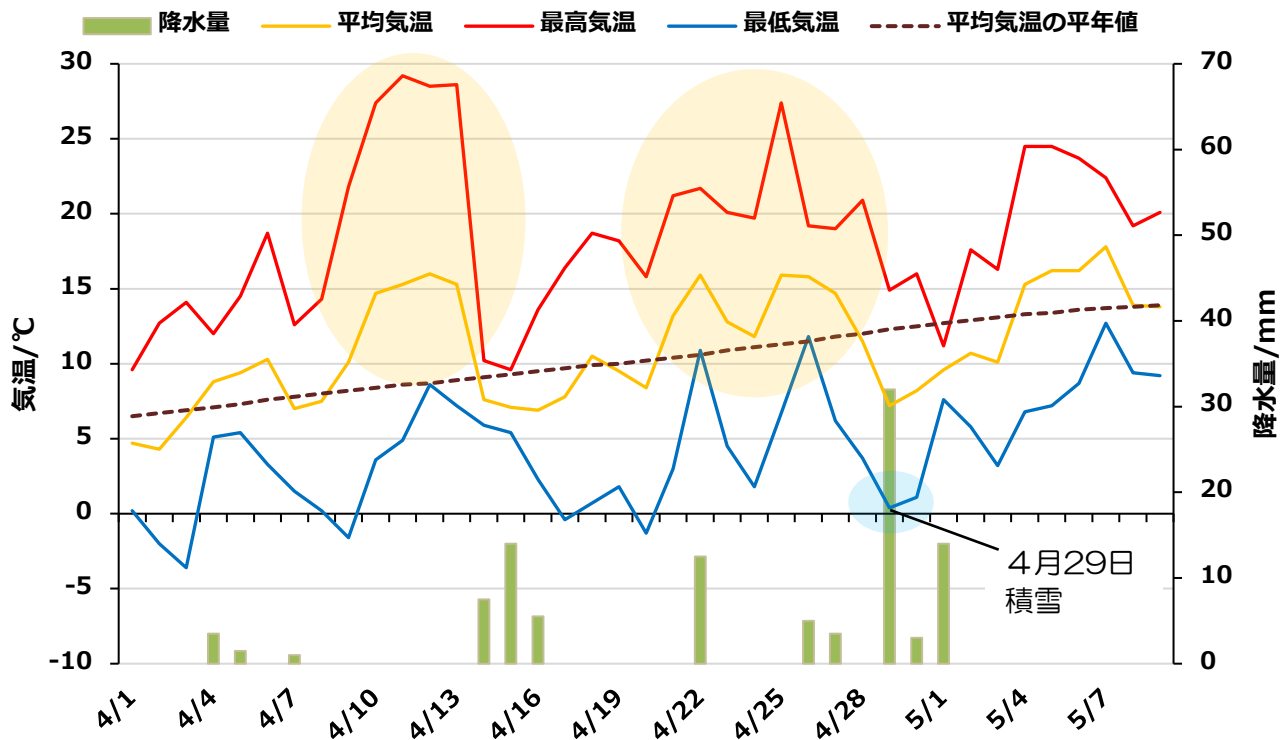


図1 4月1日～5月9日の気温・降水量の推移(アメダス地点: 米山)





2. 今後の管理（摘果）について

発芽から開花までの生育には貯蔵養分が使われますので、結実が多ければその分貯蔵養分が多く消費されます。果実の細胞分裂は、開花4週間後頃には停止し、それ以降の果実肥大は主に細胞の肥大によりますので、早期に摘果することで大玉果が期待できます。

(1) 人手による摘果

中心果のガク立ちを確認したら、着果位置の悪いもの（腋芽果、枝の真上・真下など）から果そうごと摘果します。「ふじ」では、青み果などの不良果実になりやすいため果台が長い果そうも全摘果します。落花10日頃までには、良好な中心果を残し1果そう1果とします。霜害が疑われる場合は、霜害を受けた果実はサビ果や奇形果になりやすいので、仕上げ摘果は障害がはっきりしてから行いましょう。中心果に被害が多い場合は側果を利用するなど、樹勢に応じた着果量の確保に努めてください。

主要品種の適正な着果程度は表2のとおりです。ただし、樹勢など生育状況に応じて加減してください。特に、「ふじ」の場合は過着果すると隔年結果を起こしやすいので、成らせすぎないように注意してください。

仕上げ摘果の完了時期の目安は以下のとおりです。

- ・結実が良好な品種：**落花25日後まで** ※「ふじ」「つがる」「王林」など
- ・生理落果の多い品種：**落花30～35日後まで** ※「紅玉」「ジョナゴールド」など

表2 標準的な着果程度

品種	摘果の強さ
紅玉	3頂芽に1果
つがる, ジョナゴールド	3.5頂芽に1果
ふじ, 王林, シナノゴールド, シナノスイート, ぐんま名月 など	4頂芽に1果

(2) 薬剤による摘果

薬剤はミクロテナポン水和剤 85（倍率：1,200倍、使用時期：満開後1～4週間、展着剤を加用すると効果的）を使用します。この薬剤は、発育の遅れた生育の悪い果実に作用しますので、頂芽中心果と側果の発育に差があるほど高い効果が得られます。

散布時期は「**ふじ**」が**満開2週間後頃**、他の品種は満開3週間後頃が基本となります。果径で判断する際は、「**ふじ**」で**頂芽の中心果の横径8～10mm程度**が目安となります。この薬剤は散布後気温が高く推移すると効果が高まります。摘果剤散布による落果は散布1週目頃から始まり、その後10日程度続きます。「ふじ」は果柄が黄変しても落果しにくいですが、手で触れると容易に落果するので、この頃から手摘みによる仕上げ摘果に入ります。

「つがる」、「ジョナゴールド」、「世界一」など年によりジューンドロップが多い品種や「ぐんま名月」は、本剤がかかると落ちすぎることがあるので注意してください。

参考：「りんご生産指導要項 2018-2019」（公益財団法人青森県りんご協会）
「果実日本 5月号 2020 vol.75」（日本園芸農業協同組合連合会）

※掲載されている農薬は令和4年5月1日現在の登録状況を確認しています。
使用する際は、事前に最新情報で農薬登録を確認の上、使用してください。

